

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—いのちとくらしをまもる
防災減災ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和3年3月19日
室蘭開発建設部 広報官

報道機関各位

鵜川・沙流川流域の水害リスクに備える「流域治水」を推進します

～「第3回 鵜川・沙流川流域治水協議会」を開催します～

「鵜川・沙流川流域治水協議会」では、気候変動による水害リスクの増大に備えるため、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、あらゆる関係者により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換するため、「流域治水プロジェクト」の策定を進めております。

この度「第3回 鵜川・沙流川流域治水協議会」を書面により開催し、「鵜川・沙流川流域治水プロジェクト」の最終とりまとめに向けた協議を行いますので、お知らせいたします。

記

- 開催日時 令和3年3月19日（金）
- 開催場所 書面による開催（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
- 議事（予定）
 - ・鵜川・沙流川流域治水協議会 規約の変更について
 - ・鵜川・沙流川流域治水プロジェクト【最終とりまとめ(案)】
 - ・今後のスケジュール(案)
 - ・厚真川水系・入鹿別川水系流域治水プロジェクトについて
- その他 会議資料は、後日、室蘭開発建設部のホームページに掲載します。
「鵜川・沙流川流域治水協議会」のこれまでの経緯等は、室蘭開発建設部のホームページに掲載しています。
(<https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/tisui/c5b1ee000000j2hu.html>)

【問合せ先（鵜川・沙流川）】国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部 治水課

課長 飯島 直己 電話 0143-25-7045(ダイヤル)

流域計画官 森 崇志 電話 0143-25-7045(ダイヤル)

室蘭開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/mr/>

【問合せ先（厚真川・入鹿別川）】胆振総合振興局 室蘭建設管理部 事業室 治水課

課長 杉本 淳一 電話 0143-24-9544(ダイヤル)



1. あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換

- 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に取組む社会を構築する必要
- 河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者※により流域全体で行う「流域治水」へ転換する※国・都道府県・市町村・企業・住民等

課題

- ・気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に取組む社会を構築する必要
- ・行政が行う防災対策を国民にわかりやすく示すことが必要

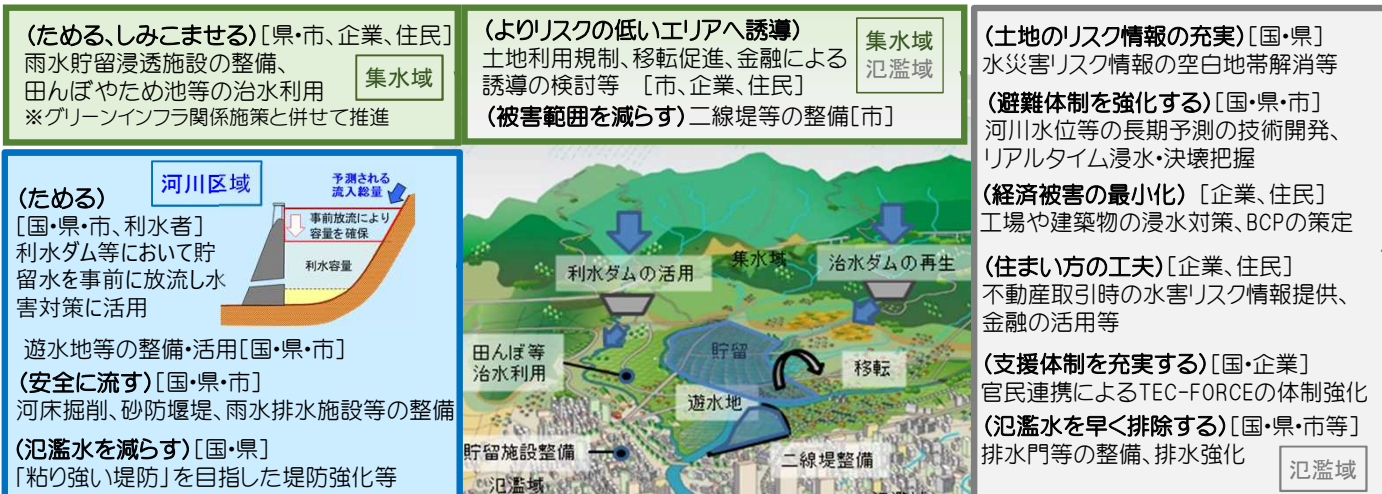
対応

- ・河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換
- ・令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた7水系の「緊急治水対策プロジェクト」と同様に、全国の一級水系でも、流域全体で早急に実施すべき対策の全体像「流域治水プロジェクト」を示し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速【全国の1級水系を対象に、夏頃までに中間とりまとめを行い、令和2年度中にプロジェクトを策定】

■「流域治水」への転換

- ・「流域治水」へ転換し、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減・早期復旧・復興のための対策を総合的かつ多層的に推進
- 【これらの取組を円滑に進めるため、河川関連法制の見直しなど必要な施策を速やかに措置】

- ①氾濫をできるだけ防ぐ
- ②被害対象を減少させる
- ③被害の軽減・早期復旧・復興



グリーンインフラの活用

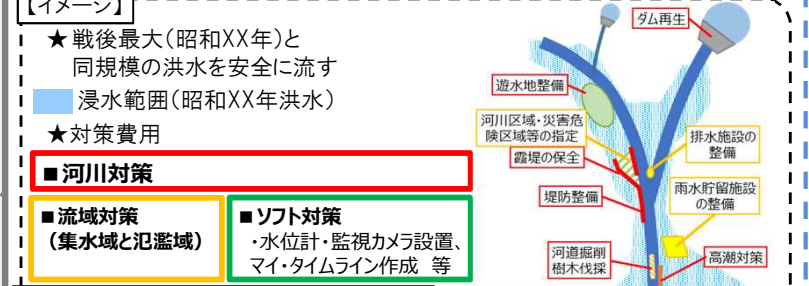
自然環境が有する多様な機能を活用し、雨水の貯留・浸透を促進

雨庭の整備（京都市）

■流域治水プロジェクト

- 全国の1級水系において、河川対策、流域対策、ソフト対策からなる流域治水の全体像をとりまとめ、国民にわかりやすく提示
- ・戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容※等をベースに、夏頃までに関係者が実施する取組を地域で中間的にとりまとめ、早急に実施すべき流域治水プロジェクトを令和2年度中に策定

※現行計画では、国管理河川で約7兆円の事業を実施中



■利水ダムの治水活用

- ・全国の1級水系（ダムがある99水系）毎に事前放流等を含む治水協定を締結し、新たな運用を開始【令和2年出水期から】
- ・2級水系についても同様の取組を順次展開

（今後の水害対策の進め方）

1st 近年、各河川で発生した洪水に対応

- ・緊急治水対策プロジェクト（甚大な被害が発生した7水系）
- ・流域治水プロジェクト（全国の1級水系において早急に実施すべき事前防災対策を加速化）

速やかに 気候変動を踏まえた河川整備計画等の見直し

2nd 気候変動の影響を反映した抜本的な治水対策を推進

- ・治水計画の見直し
- ・将来の降雨量増大に備えた対策

※国・都道府県、市町村を示す
[]内は想定される対策実施主体を示す